

昭和40年4月5日第三種郵便物認可
(旧「公衆衛生」)

2016年11月1日発行

第590号(通算)

発行:奇数月1日

会員購読料:1月10円(年間60円)
一般購読は別途送料

環境と健康

環境づくり・健康づくりのコミュニティ情報紙

発行者

一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会
佐藤均
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号 730-8631
電話 082-293-1511番
振替口座01380-2-27511
URL http://www.kanhokyo.or.jp/



10月4日、「平成28年度環境啓発ポスター・標語コンクール」
度環境啓発ポスター・標語コンクール選考委員会
が公衆衛生会館で開催され、入選作品77点(ポスター38点、標語39点)が選定されました。(入選作品は2面参照)。テーマは昨年に続き

◆内田委員長(ポスター)
今年もまた、広島県内の各地の中小学生の皆さんに、その素晴らしい作品に出会えて、楽しく充実した選考を務めさせていただきました。作品の視点も、少しずつですが、新しい題材へと広がっていました。また同じ学年によ

つて捉え方や表現がさまざまに異なり、どれも興味深く感じました。中でも自身の経験から生まれた作品は、いずれもその気持ちがとてもよく伝わってきました。

◆森嶋委員(標語)
今年も豊かで鋭い感性をもち、思つたことを素直に表現した多くの標語に、分かれて審査を行いました。選考委員がポスターと標語に分かれて審査を行いました。

選考委員の「メントは次」とおりです。

平成28年度環境啓発ポスター・標語コンクール

小中学生から3万7千点の応募



選考委員会では、公衛協の推薦作品から77点の受賞作品を選出しました。推薦作品には、子どもたちの純粋な気持ちや思いが表現された、感性豊かな作品が多くみられました。作品の選考にあたっては、8人の選考委員がポスターと標語に分かれて審査を行いました。

選考委員の「メントは次」とおりです。

◆東海委員(標語)
今年も豊かで鋭い感性をもち、思つたことを素直に表現した多くの標語に、分かれて審査を行いました。環境問題は、家庭での会話を感じさせる作品が多かったことだと思います。親子で普段、こんなことを話しているのかな、と想像しながら選考委員がポスターと標語に分かれて審査を行いました。

◆高尾委員(標語)
とても嬉しい、また驚いたことは、本当にたくさんの良い作品があったことです。子どもだけではなく、生徒を指導された先生や学校の熱意にも感謝いたします。作品は、低学年では子どもの心の声が素直に表わされていました。環境問題に対する意識が高まっています。親子で普段、こんなことを話しているのかな、と想像しながら選考委員がポスターと標語に分かれて審査を行いました。

◆福田委員(ポスター)
作品はどれも、その年代表なりの感性や興味が表れています。ポスターは絵画とは違い、絵の表現だけでなく、キャラクターも大切です。漢字や英語を正確に書くことで求められます。ごみやリサイクル、節水節電などテーマが集中する中で、見る人の足を止められる作品には独自の工夫が見られます。作品制作に取り組む中で、大小の環境問題に目を向いて会話、「こんなことしかや、いけんよね」「気を付けようね」と皆で行動に移す取り組みを広げてもらいたいと思いま

◆西村委員(ポスター)
このたび、初めて選考に参加しました。県内各地から推薦され、ずらりと並べられたカラフルで素晴らしい作品の数々には、子どもならではの感性やアイデアが満載で、環境保全に対する前向きな姿勢に感動しました。また、地域環境に対するやさしい気持ちや「問題意識」が伝わってきて、ポスターのキャラクチャーレーズに込められた想いや、絵を描いている姿を想像しながら、楽しく選考しました。

◆務中委員(標語)
今年も楽しく感心しながら選考しました。子どもたちの感性豊かな表現を改善していくという決意のほどがうかがわれて、頼もしく思いました。特に中学校の部では、未

常に苦労しました。この

琴線歌
きんせんか
平成22年5月に開かれた世界保健機関(WHO)総会において「アルコールの有害な使用を低減するための世界戦略」が採択されました▼

◆松井委員(ポスター)
今年も子どもたちが素敵なポスターを応募してくれました。県内の市町公衛協の審査を通して、敵なポスターを応募してしまった。年齢が上がる

アルコール健康障害対策について
あるのみならず、家族への深刻な影響や、飲酒運転やロボなどの重大な社会問題をあります。年齢水準を超えた作品もあり、楽しんでいました。自然保護廃棄物削減、地球温暖化など訴求するテーマも多様で、感性豊かな力作ぞろいのため、選考は非常に苦労しました。この

琴線歌
きんせんか
平成22年5月に開かれた世界保健機関(WHO)総会において「アルコールの有害な使用を低減するための世界戦略」が採択されました▼

◆松井委員(ポスター)
今年も子どもたちが素敵なポスターを応募してくれました。県内の市町公衛協の審査を通して、敵なポスターを応募してしまった。年齢が上がる

アルコール健康障害対策について
あるのみならず、家族への深刻な影響や、飲酒運転やロボなどの重大な社会問題をあります。年齢水準を超えた作品もあり、楽しんでいました。自然保護廃棄物削減、地球温暖化など訴求するテーマも多様で、感性豊かな力作ぞろいのため、選考は非常に苦労しました。この

琴線歌
きんせんか
平成22年5月に開かれた世界保健機関(WHO)総会において「アルコールの有害な使用を低減するための世界戦略」が採択されました▼

◆西村委員(ポスター)
このたび、初めて選考に参加しました。県内各地から推薦され、ずらりと並べられたカラフルで素晴らしい作品の数々には、子どもならではの感性やアイデアが満載で、環境保全に対する前向きな姿勢に感動しました。また、地域環境に対するやさしい気持ちや「問題意識」が伝わってきて、ポスターのキャラクチャーレーズに込められた想いや、絵を描いている姿を想像しながら、楽しく選考しました。

琴線歌
きんせんか
平成22年5月に開かれた世界保健機関(WHO)総

[イラストA]



[イラストB]



一度転倒すると、一年以内に転倒する確率が転倒していない人の2倍になると言われています。

筋肉を柔軟にして血流を良くする

【椅座位】
①片足を逆の足の太ももに置き、足首回し。左回し5回、右回し5回×6セット。
②①の状態で足首伸ばし(底屈)と足首曲げ(背屈)の状態でグー・バー往復10回×2セッ

【立位】
①必ずしっかりした椅子やテーブルに手をとけ足を拳二つ分開き、ゆっくりとかかとを上

【イラストC参考】
⑦①～⑥を逆の足で同様に行う。

【イラストA参考】
③②の状態でグー・バー往復10回×2セッ

【イラストB参考】
④水質の保全と管理

瀬戸内海では、高度経済成長期の昭和40年代に水質汚濁が進んだため、瀬戸内海環境保全特別措置法(以下「法」という)等により、水質保全対策が進められました。その結果、一定の水質改善は達成されたものの、藻場、干潟の減少、

膝の手術は成功する確率が高いようです。ですが、足首は手術が難しいようです。今回は、50歳になれば足を引きずるようになると

今の医療では、膝の手術は成功する確率が高いようです。足首は手術が難しいようです。今回

は、50歳になれば足を引きずるようになると

足首が硬いという

共通点があります。

足首を動かす

ことで、フクラハギやスネの筋肉を柔

軟にし、血流を良

くすることが大切

です。

一度転倒すると、

一年以内に転倒す

る確率が転倒してい

ない人の2倍にな

ると言われて

います。

転倒する方は、

一度転倒すると、

